【論文】

**主タイトル（MSゴシック　12ポイント　太字）**

**―サブタイトル―**

English Title:（Century　12ポイント）

 Subtitle

汉语主标题（MS明朝　12ポイント）

―汉语副标题―

名字　名前

【Abstract】あるいは【内容提要】（以下は例）

The reception of Max Weber in Chinese social sciences had once delayed due to the domination of Marxism ideology over academy. ・・・（英語の場合）

近年来，随着中国娱乐偶像产业和社交媒体的兴起，以网络粉丝社群为中心，一种更活跃，更自主，更富有参与性的参加型文化逐渐被媒介研究领域关注。（中国語の場合）

【キーワード】中国、近代化、モダニティ（日本語で3つ程度）

【Keywords】あるいは【关键词】英語Abstractの場合は英語のキーワード、中国語の要旨の場合は中国語のキーワードをここに書いてください。

# １．第1節タイトル（MSゴシック12ポイント）

　行を空けずに書き出す。以下は例。

本研究は、中国におけるウェーバーの初期受容における諸言説を考察のテーマとする。

　・・・

　80年代以降の中国におけるウェーバー受容と土着化のプロセスについては、これまですでにいくつかの研究が存在している（李 2015；Tsai 2016）。

　・・・

　例えば、羅崗はその中国のウェーバー翻訳に関する研究に、次の問題を提起した。「なぜ80年代の中国のウェーバーに対する扱いは、その『近代化理論』の側面に限られたのか」（羅 2006：345）。

# ２．第2節タイトル

## （１）第2節第1項タイトル（MSゴシック　11ポイント）

　ここから書き出す。

　次の項との間に一行空ける。

## （２）第2節第2項タイトル

　ここから書き出す。以下は例。

1985年12月、『読書』の編集部は「マックス・ウェーバー：ある思想家の肖像」という座談会を開催した。

　学者たちの精力的な紹介のおかげで、この時期、「ウェーバー・フィーバー」といわれるほどの思想事件が発生した。図―1は1979年から90年代まで『読書』雑誌のウェーバーに言及した文章数の推移のグラフである。

**図―1　タイトル**

# ３．第3節のタイトル

　ここから書き出す。

## （１）第3節第1項タイトル

　ここから書き出す。表が入る場合は、下記のように示す。以下は例。

**表－１　表のタイトル（以下の表は例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 変数名 | 類型 | 内容 |
| 1 | autho1 | 権威主義 | テレビを含むマス・メディアの内容に対して政府の検閲は必要である |
| 2 | autho2 | 権威主義 | 教師が講義中に政府を批判するのは許されないことだ |
| 3 | autho3 | 権威主義 | 政府の権威と社会の秩序を乱す人と集団に対しては厳罰すべきだ  |
| 4 | autho4 | 権威主義 | 政府は家族の家長のようなもので、誰もが政府に服従すべきだ |

出典：〇〇

　本文中で長い引用をする場合は、改行し、インデントをつけて表示する。以下が長い引用文の例。

　ウェーバーのこの著作は、人の心を打って深く考えさせる命題を含んでいます。すなわち、あらゆる重大な歴史的な事業の後ろに、必ず一種の見えざる精神的な駆動力が存在すると。…ウェーバーの分析は資本主義という具体的な歴史現象を対象として行われたが、我々の目の前の社会主義近代化建設に対しても深い啓発的な意味を持っています。生産力の莫大な発展を果たした資本主義とプロテスタンティズム文化との間に因果関係はあるのでしょうか。（出典情報）

　引用文の上下一行ずつ空けるようにする。上記の引用文を見ればそれが明白に示されている。

## （２）第3節第2項のタイトル

　ここから書き出す。

なお、図と表のサイズが大きくて、二段組の文章中にどうしても入らない場合は、その箇所でセッション分けして、図表の部分のみ一段組にすることも可能。セッション分けの方法が分からない場合は各自で調べてください。例として、この場所でセッション分けをしている。次のセッションにカーソルを置いて、段組みを「一段」に設定することができる。そうすれば大きい図表も入る。

　**表－2　タイトル（以下の表は例）**

|  |  |
| --- | --- |
| 高齢者扶養をめぐる責任意識 | 子育てをめぐる責任意識 |
| % | 介護・医療 | 生活的ケア | % | 教育費 | 生活的ケア |
| 全てが個人や家族の責任 | 5.4 | 10.9 | 全てが個人や家族の責任 | 10.6 | 18.6 |
| 大部分が個人や家族の責任 | 25.7 | 43.3 | 大部分が個人や家族の責任 | 35.4 | 50.1 |
| 家族と政府が半々 | 42.7 | 33.4 | 家族と政府が半々 | 30.9 | 24.9 |
| 大部分が政府の責任 | 30.0 | 10.0 | 大部分が政府の責任 | 18.3 | 5.2 |
| 全てが政府の責任 | 4.8 | 2.4 | 全てが政府の責任 | 4.6 | 1.0 |
| 有効ケース数 | 820 |

再びここでセッション分けして、2段組に戻す。

　こうやってセッション分けの機能を使えば、文章の途中でも、1段組みと2段組みを交互に使うことができる。

（二行空ける）

注

文中でつけた注は文末でまとめて示す。

（二行空ける）

# 参考文献（下記は例）

（一行空ける）

【日本語文献】

青井和夫，1996，「都市住民の生活誌」，青井和夫編『中国の産業化と地域生活』東京大学出版会，313-339.

福武直，1946，『中国農村社会の構造』大雅堂．

経済企画庁編，1990，『国民生活白書（平成２年版）』，大蔵省印刷局．

森岡清美，1988，「女性ライフコースの世代間および世代間葛藤」，『社会学評論』日本社会学会155：230-239.

日中社会学会，1996，「『日中社会学研究』投稿規程」，日中社会学会ホームページ，2012年７月９日取得，http://www.japan-china-sociology.org/?p=97．

【中国語文献】

李銀河，1996，〈中国女性的性観念〉，《社会学研究》中国社会科学院社会学研究所社会学研究編輯部編62：36-39．

陸学芸，張厚義，1992，〈轉形社会中的農民分化〉，陸学芸主編《改革中的農村与農民》中共中央党学校出版社，15-39．

余英時，1987，《士与中国文化》上海人民出版社．

【欧米語文献】

Balazs, E.,1968, *La Bureaucratie céleste*, ditions Gallimard.（＝1971，村松祐次訳『中国文明と官僚制』みすず書房）．

Lee, Y.F., 1989, “Small Towns and China’s Urbanization Level”, *The China Quarterly*, 120: 771-786.

Parish, W.L. and Whyte, M.K., 1978, *Village and Family in Contemporary, China*, University of Chicago Press.

White, T., 1990, “Political Reform and Rural Government”, in Davis and Vogel E.F. eds., *Chinese Society on the Eve of Tiananmen*, Harvard University Press, 37-60.

（二行空ける）

謝辞

もしあればここに書く。

　最後に一行空けて、右揃えで名前のローマ字、所属を書く。

（LI Yanyan／駒澤大学）

※全体で11ページを超えない、とする。